室戸市保育所及び学校適正規模・適正配置実施計画（案）地域説明会

〇日　　時：　令和５年７月12日（水）
〇場　　所：　羽根小学校
〇市出席者：　百田教育長、山本教育次長兼学校教育課長、村上課長補佐、髙﨑班長
〇参加者数：　13人

（髙﨑）
定刻となりましたので、室戸市保育所及び小中学校の適正規模・適正配置についての地域説明会を開催します。まず初めに、担当者の紹介をさせていただきます。教育長からお願いします。

≪担当者挨拶≫

（髙﨑）
この説明会では、令和２年度から検討を始めました、室戸市保育所及び学校適正規模・適正配置について実施計画案を作成しましたので、その内容について説明させていただきます。
なお、この説明会は記録の作成のために、録音させていただきますので、ご了承ください。
それでは、説明会を開催させていただきます。まず、教育長の挨拶お願いします。

（教育長）
改めまして、こんばんは。 お仕事のあと、それからお子様の夕食の準備等でお忙しい中。おいでいただきまして誠にありがとうございます。保育所及び学校適正規模・適正配置の検討会は、様々な立場の保育所の代表の方、小中学校の PTA の会長の方とかいろんな方の協議を経て、この実施計画の案を作成いたしました。佐喜浜からずっと、説明会をさせていただいて、１ 回目の最後の地区ということになりますけれども、この計画案につきまして、 ご意見、ご質問をいただいて、子どもたちの教育環境を整える、ために、参考にさせていただきたいと思いますので、どうかよろしくお願いいたします。

（髙﨑）
それでは、続きまして学校教育課長の山本より、まず初めに、これまでの経緯について説明させていただきまして、その後で、実施計画案についてご説明させていただきます。それぞれについて、質疑応答時間を構えますので、よろしくお願いします。

（山本）

≪資料に沿って経過説明≫

（髙﨑）
一旦これまでの経緯について質問のある方がいましたら、挙手でお願いしたいと思いますなければ、実施計画案の説明に進ませていただきます。最後にまた質疑応答の時間をとらせていただきます。

≪資料に沿って実施計画案説明≫

（髙﨑）
それでは、これまでの説明について質問のある方挙手をお願いしたいと思います。

（参加者）
私はね、子どもは４人おります。子どもは全員東京に出していますので、孫も全員東京におりますので、言う権利はないけんど、この話を聞いて思うことは、まず中学校を１つにすることはまり効果ないと思います。せめて羽根、吉良川に一つ。あとはむこうにかためてもえいと思う。特に複式になると言って先生が限られると。先生はどっさりおるき、柔軟にやったらなんとかできます。インターネットとかいろんなやり方で教育できます。子どもは心配せんでも育ちます。一番大事なことは、健康で、素直に育ったらいい。中学生が減ったらせめて羽根、吉良川にかためる。先生の配置は杓子定規にせんでも、先生はなんぼでもおる。余分なことは考えんでもえいと思います。
（山本）
やはり地域へ学校を小規模でも残してほしいっていう声は、他の地域でもかなりは出てきております。今回、教育委員会の考えとして、まず小学校についても、本来市が望む規模にはなってないんですけれども、小学校については、地域に１つ残しておくというところがあってですね。ただ、中学校については、この生徒数をどう考えるかっていうところなんですけれども、教育委員会としたら、中学校になったら一定専門的な勉強も入ってきます。そうした中で、複式学級で専門外の先生が教えるっていう状況については避けたいと。室戸の中学生には、望ましい規模での教育の環境を作ってやらなければならないというような考えで、今回の内容となっております。小規模校の良さっていうのはあるんですけれども、これだけ生徒数が減ってくるっていう見込みの中で、室戸市の中学生にとっては望ましい規模の中で勉強してもらいたい、そういう環境を作ってあげなければならないというのが、考えでございます。
（髙﨑）
他に質問等ございますか。
（参加者）
先生どっさりおると思う。柔軟にやってもらったら。先生なんぼでもおる。
（山本）
学校に配置できる先生の数は決められるがですよ。学級数によって決められるんで、例えば複式学級になって、１つの学校で２つの学級しかない学校については、６人というような決まりがあるがですよね。確かにその免許を持っている方は、おられるんですけども、その学校へ配置することができなくなるということなんですよ。
（参加者）
法律というものは人が便利になるようにせんといかん。
（山本）
今の法律の中では、先程言ったような形になってきます。
（髙﨑）
他に意見のある方いらっしゃいませんか。
（参加者）
僕は、子どもが減りゆうという認識はあったけどね。実際どれぐらいの数字になるかはわかってなかった。子どもが減って、クラブは選択もないわね。もっと先が心配。まだもっと減ってきたら室戸市で１校あるがかなと。僕はやむを得ずみたいな感じ。

（髙﨑）
令和 10 年度以降の話ですけど、完全な推定はできてないですけど、令和 10 年度時点で羽根小学校の子が確実にそのまま羽根中学校に進んだとして、令和 11 年度羽根中学校の人数が、17 人。12 年度は、ちょっと増えて、21 人。13 年度 22 人で、14 年度が、17 人で、令和 15 年度 14 人 、令和 16 年 12 人。令和 16 年の時点で中学生に入る 1 年生も 1 人です。1 人の中学生 1 クラス。おそらく小学校時点でどっかに行ったりとかっていう可能性も大いに考えられるかなっていうのが、今の出生数とかから考えられる現状となってます
（参加者）
最近は世の中どんどん変わって、僕らの考え方がいかんことが増えてきた。その中でみよったら、やっぱり子どももある程度、人数多い中で、やっていかんと社会出たときに、付き合い方もわからなくってくるで。あんまりにも世の中が変わりすぎて。成長するならある程度人と話をしよらんかったらいかん。僕は今言ったように 1 つになるやったら、羽根が 1 番いいけど、そういうわけにもいかんしね。統合は避けれん問題やと思うね。
（山本）
ありがとうございます。
（髙﨑）
他に、意見なんでも構いませんので。
（参加者）
今少子化で、子どもを増やそうという政策をしてますよね。現実に言うとね、30 代超えた男性も女性もどっさりおるわけよ。大体、自分で出会いを見つけて結婚するのが多いですよね。40 代はなかなか難しい。1 番大事なことはね安心して男性も女性も安心して交際できる、出会いをつくる。そういう機会を作って。そうやったら人口も増えると思う。
（髙﨑）
他に質問とか、意見のある方いらっしゃいませんか。
（参加者）
今まで家の近くとかに学校がありましたよね。通学とかも歩けるような環境の中で、統合しました。そこで、資料にも書かれてますけど、スクールバスとか活用して通学できるように、
時間帯とかも学年によって違うと思うんですよね。そういうところも、ちゃんと割り振りをしてくれたらすごく安心かなと。
（山本）
今まで自転車とかで通えた地域が、スクールバスで通わないかん。そうした中で、スクールバスをどういう形で走らすかっていうところがすごく大事なところですので。そういったところにつきましても、基本的にはスクールバスを活用して、負担の少ないような形は考えてまいります。そこについては、学校のあり方検討委員会という組織がありますので、そこで、それぞれの地域の方の保護者の方のご意見を聞いて、その地域にあったスクールバスの運行の形は作ってまいりますので、よろしくお願いします
（参加者）
今回、この中学校が統合すると思うんですけど、羽根小学校は羽根中学校に高台移転を検

討と書いてあるんですが統合した後、だいぶもう先になるっていうことですね。

（山本）

中学校については、令和 10 年 4 月 1 日からということで、その方向性が決まっていれば、小学校については、その跡地に移しますので、令和 10 年度中に小学校が移転できるように、手前から、校舎を小学校用に改修するとかですね、そうした整備は行ってまいります。羽根小学校の置かれている状況というのは、南海トラフ地震を考えたら、大変厳しい状況ですので、早く上へ上げるというところは考えてまいります。できたら、令和 10 年に羽根中学校が統合になった後に、できるだけ速やかに移転できるような形は考えております。

（髙﨑）

他に意見とかある方いらっしゃいますか。

それでは意見がないようでしたら、これで説明会を終わらせていただきたいと思いますが、よろしいでしょうか。

それでは、ありがとうございました。